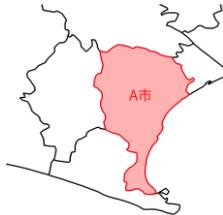


災害事例ID		2010-12-03_x_Rxxxxx_JP14205-063492-21			範囲精度 *2 A	
災害発生地		神奈川県藤沢市				
現在の自治体名*1		神奈川県 藤沢市 (地方公共団体コード: JP14205) 代表点座標: 35.33894, 139.491116				
災害の種類		風水害 (洪水, 大雨)				
自然現象		風水害	期間降水量: 87.5 mm, 地点: 藤沢市辻堂 (2010年12月2日 (平成22) 19:00 ~ 2010年12月3日 (平成22) 11:00)			
発生時期	発生日	2010年12月3日 (平成22年12月3日)				
	災害の継続期間	2010年12月2日 (平成22) ~ 2010年12月3日 (平成22) (継続期間)				
被害詳細	建物被害	住家被害	一部損壊	32 棟		
		浸水被害	床上浸水	2 棟	床下浸水	2 棟
	浸水被害		浸水面積: 被害有り			
出典資料		神奈川県安全防災局 (2010) : 平成22年12月3日大雨等による県内の被害状(第4報).				

*1 : 2013 (平成25) 年1月1日時点

災害事例ID		2010-12-03_x_Rxxxxx_JP14205-063492-21
風水害	期間降水量	87.5 mm, 地点: 藤沢市辻堂 (2010年12月2日 (平成22) 19:00 ~ 2010年12月3日 (平成22) 11:00)

*2：範囲精度の解説

範囲精度	事例の地理的な範囲の用例	事例範囲のイメージ
A	事例レコードの地理的範囲と災害統計値の集計エリアとが同一。	
B	事例レコードの地理的範囲(現在のA市)は、災害発生当時の旧市町村エリアよりも大きいため、実際には災害が発生していない地域も含む。	
C	出典資料に事例レコードの地理的範囲に関する記述が無く、正確な範囲が不明。(例:非常に古い災害、河川の流域)	
D	事例レコードおよびその周辺地域(隣接自治体までの範囲)を含む範囲で、かつ、事例レコードの範囲に関する情報を抽出できない。この場合、事例レコード内での被害状況は事実よりも過剰な記述となる。	
E	事例レコードを含む広域(郡、県、山麓レベル)の範囲で、かつ、事例レコードの範囲に関する情報を抽出できない。	<p style="text-align: center;">県・地方単位</p>